

## はじめに

さいたま市は、県内でも有数の農地面積を有し、大規模な緑地空間である見沼田圃や、荒川、綾瀬川、元荒川流域に広がる豊かな水田地帯を始めとした優良農地が確保され、米や野菜、種苗・植木、花卉などの生産が活発に行われております。

また、首都圏という大消費地の立地を生かし、集約的な農業経営が発展し、多くの農産物直売所が開設されています。

本市では、このような「さいたま市らしさ」を基調として平成16年度に「さいたま市農業振興ビジョン」を策定し、「農業」や「農地」、農と都市を結ぶ「農コミュニティ」の各分野への施策を実施してまいりました。

しかしながら、平成21年4月の改定後、およそ5か年が経過した今日、農業者の減少や高齢化、国の政策変更など農業を取り巻く情勢が予想を超える速さで大きく変化しています。

人口125万人を擁し、生産の場と消費の場が近接しているという本市の利点を活かした農業の持続的発展と、農と都市の共存がより重要となっています。

そこで、平成24年12月に制定された「さいたま市都市農業の振興に関する条例」が定める、「都市農業基本指針」として本ビジョンを位置づけし、各施策を総合的かつ計画的に推進実行できるように本改定を行いました。

市民の求める、安全で安心な農産物を安定的に供給し、農業経営の安定を図るため、地産地消の推進、6次産業化などを重要な施策としてとらえ、「幸せ実感都市、選ばれる都市」の実現を目指してまいります。

市民の皆さんが、本ビジョンを共有し、さいたま市の農業を支えるサポーターとして、ともに支え育てていくことを願っております。

最後に、本ビジョンの改定にあたり、ご尽力を賜りました「さいたま市都市農業審議会」の委員の皆様、アンケート調査等を通じて貴重なご意見をいただいた農業者、市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成26年3月

さいたま市長 清水 勇人





## 目次

<b>I ビジョン改定にあたって</b>	
1. ビジョン改定の趣旨	5
◆農の役割	6
2. ビジョンの位置付け	8
3. 計画目標年次	9
<b>II さいたま市農業の現況と課題</b>	
1. さいたま市の農業	11
2. さいたま市の農家と担い手	13
3. さいたま市の農地	14
4. さいたま市農業の課題	15
◆農に関するアンケート	18
<b>III 農業振興の基本的考え方</b>	
1. 理念	20
2. 基本方針	21
<b>IV 農業振興施策の展開</b>	
1. 施策の体系	23
2. 施策の内容	24
3. 各主体の責務と役割	30
4. さいたま市の農タイプ	31
<b>V 重点プロジェクト</b>	
1. 重点プロジェクトについて	35
2. 重点プロジェクト推進目標	43
<b>VI ビジョンの推進に向けて</b>	
1. ビジョンの推進に向けて	45
<b>VII 資料編</b>	
1. さいたま市都市農業審議会の概要	47
2. さいたま市都市農業の振興に関する条例等	48
3. 用語解説	51